

平成29年第1回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一 括 質 問	一 問 一 答
3月7日(火)	午後	1	中島 清一 議員	○		
		2	渡邊 雄三 議員		○	
		3	山本 知克 議員		○	
		4	白井 丈雄 議員	○		
8日(水)	午前	5	堀 勝重 議員		○	
		6	大原 伊一 議員	○		
	午後	7	柳川 隆 議員		○	
		8	樋浦 恵美 議員		○	
		9	山崎 雅男 議員		○	
9日(木)	午前	10	山崎 光男 議員		○	
		11	土田 昇 議員		○	
	午後	12	塙 豊 議員		○	
		13	宮路 敏裕 議員		○	
		14	小林 由明 議員		○	
10日(金)	午前	15	藤井 秀人 議員		○	
		16	齋藤 信行 議員	○		
	午後	17	タナカ・キン 議員		○	
		18	吉田 勝利 議員		○	
		19	大岩 勉 議員		○	

平成29年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	中島 清一 (一括質問一括答弁方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1)平成29年度の重点政策について	①平成26年の2期目再選から4月でまる3年になり、残す任期はあと1年となる。市長就任以降「日本一輝くまち・燕」、「燕はひとつ」をスローガンに掲げて取り組み、そして2期目の現在は、定住人口、活動人口、交流・応援(燕)人口の視点から人口増戦略に取り組んできた。市長が平成29年度予算に盛り込まれた重点政策について伺う。
		2. 国道116号バイパスについて	(1)早期事業化に向けての取り組みについて	①国道116号バイパス整備促進協議会は2月8日、バイパスの早期事業化に向けて、国土交通省に事業のスピードアップを要望した。それに対して国土交通省の田中良生副大臣は、前向きに取り組む姿勢を示し、今年度末、3月中にも国や県、燕市の3者による具体的な検討に入りたいとの考えが示された。今後の予定や計画について伺いたい。
		3. 運転免許自主返納支援事業について	(1)助成の拡充について	①2015年に75歳以上のドライバーによる死亡事故は458件で、高齢ドライバーによる悲惨な交通事故が多発している。本県における75歳以上の免許保有者は2015年12月末時点で11万7,268人。返納率は3.13%であった。本市においては2015年7月から自主返納支援事業を開始したが、返納の申請者数はどうか。 また、65歳以上の返納者に対する支援事業としてタクシーやおでかけきららん号、循環バススワロー号の利用券を合わせて1万円分を助成してきた。高齢者の自主返納を促すためにも助成のさらなる拡充を求めたいがいかがか。
		4. 踏切事故防止について	(1)危険個所の点検、対策について	①国土交通省は改良が必要な踏切として全国529カ所を指定した。本県では12カ所が指定され、歩道や車道が狭かったり、通学路で安全確保が必要だったりする場所が指定された。昨年12月、三条市の踏切で男子高校生が電車にはねられ死亡する事故が起きた。本市における踏切の安全点検、対策を伺う。
		5. 通学路の安全対策について	(1)点検見直しについて	①交通事故から児童生徒を守る。危険な通学路はないか。信号機の設置を求める声もある。安全対策には万全を期していることと思うが今一度点検する必要があるかと思うがいかがか。
2	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. ICTの活用について	(1)タブレット端末を使ったペーパーレス議会導入でどのような効果が考えられるか	①職員の印刷および送付・事務負担の効率化を含めた労務の効率化は、どのように考えているのか伺います。 ②ペーパーレス議会に関わる紙コストの軽減及び準備にかかる作業人件費削減効果についてはどのように考えているのか伺います。 ③紙資源・印刷コスト・資料の処分にかかる環境保全についてどのように考えているのか伺います。 ④資料の訂正・差し替え等に掛かる経費、削減および議会直前での資料の修正・訂正についての会議の効率化についてどのように考えているのか伺います。 ⑤市民へ分かりやすい市政情報提供に対してはどのような効果が考えられるのか伺います。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	渡邊雄三(一問一答方式)	2. 安心・安全な地域づくりについて	(1) 密集地での災害対策について	①市内に木造住宅が多い密集地があるが、各種災害・自然災害等対策についてはどのような取り組みをされているのか伺います。
			(2) 地域力の活性化について	①地域力向上(地域コミュニティ)をさらに高めるために、中学生の秘めている力は大きいと思うが考えを伺います。 ②中学生への防災教育を実施し、知識や技術の習得と意識の変革が高まれば、地域防災の担い手となりうると思うが考えを伺います。 ③防災教育の一環として心肺蘇生法とAEDの習得することによって生命の尊さを学ぶことは意義あることと思うが考えを伺います。
3	山本知克(一問一答方式)	1. つばめ産学協創スクエア事業について	(1) つばめ産学協創スクエア事業について	①旧高橋書店跡の利活用については、他に活用法の提案の無いこの土地にも、以前、建物が建っていたことから建設できないとは言わないが、窮屈な環境と考えられることについて説明はあるのか。予算付けをして隣地の購入や活用を計画できないのか伺う。 ②構想の段階で、燕商工会議所を巻き込んで事業の提案が見送られたと聞くが、今後、事業の検討を進めるうえで「産業界・行政・市民」で構成される検討会の設置は考えられないか。その中で「若い人を誘うには、説明会などに積極的に若い人材を登用し、この人と一緒に仕事をしたい」と思わせる「職場・地域環境」が大切だと思うが、市民を交えて話し合う機会を設ける必要があると思うが考え方を伺う。 ③これまでは(夏休みや長期休暇)を利用してインターンシップ(大学生・高校生)の報告が多く、今年度より大学の専攻科(単位修得のため通年)の受け入れを計画すると伺うが、募集規模や受入れ人数はどの程度を見込むのか伺う。 ④宿泊を伴うもの・インターンシップは、選ぶもの。選ばれるもの。新潟大学・長岡技術大学と包括連携を締結しているが、他の大学への呼びかけをどう考えるのか。補助金を出して、既存の宿泊施設の利用も考えているのか。今後の受入先募集の計画は。 企業を含む環境や地域のぬくもりを感じて頂くためには、「空き家の利活用はできないか等」の意見や、宿泊施設も近隣市町村の中で、融通できるのではないか等の声もあるが伺う。
		2. 金属加工製品、生産活動活性化のために	(1) 次世代産業育成事業について	①金属洋食器やハウスウエア産業で培ってきた金属加工技術を活用し、医療器産業の育成を図る事業だが現況はどうか、また新年度予算では研究グループ支援活動分の補助が無く、減額となっているが計画や周知活動に問題は無かったのか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	山本知克 (一問一答方式)	2. 金属加工製品、生産活動活性化のために	(2)10年20年先も、金属洋食器・ハウスウエアなどの産地であり続けるために	<p>①中期的に、金属製品製造業の推移をみると製造品出荷額等は、平成21年に不況の影響から大幅な減少が見られ、平成15年と比べると48億2,571万円減少(平成15年比94.3%)していますが、平成23年からは増加に転じており、平成24年は前年比105.9%、44億5,782万円の増となったが、その中でとらえると金属製品は構成比の中の21.6%に含まれていてわかりにくい。金属洋食器・ハウスウエアの衰退が言われるが、事業所数、就業人数、出荷額について10年程度の推移を伺う。</p> <p>②「金属洋食器・金属ハウスウエア」この燕市が全国的にも誇る産地でありながら、近年出荷額の落ち込みや就業者数の減少も著しく、家内工業や零細企業が多く作業単価も低いことから、この仕事を子どもに継がせたくない、仕事量の減少から続けられないなど廃業者の多い現状がある。</p> <p>今後は、外注に出していたものを内製化していくのではないかと思われるが、合併前の基幹産業であったこれらの製品について当市が過去の産地とならないよう、業界団体と協議の場を持ち、検討することが急務と思うが考えられないか伺う。</p> <p>③一方で「磨き屋一番館」の成功や、洋食器セットに必要なナイフの製造も消滅の危機に陥りながら、業界や他団体からの支援が、これまでなかった企業間を超えての伝承が始まり注目している。好調を博している、「磨き屋一番館」の卒業生の就業状況等や現況について伺う。</p>
		3. 地域の見守りについて	(1)民生委員の欠員について	<p>①民生委員は、無報酬のボランティアの位置づけで地域の見守り役として、自治会長と協力しながら活動をしている。その内容は多岐にわたり、一人暮らしの高齢者世帯の増加、閉じこもりや貧困などで困っている方を、関係機関への橋渡しを行うほか、重要な役割を担っているが、日頃の民生委員の活動をどのようにとらえているか伺う。</p> <p>②1月1日号広報では、6名の欠員が掲載されていたが、その後はどうか。現在欠員は他の地区の民生委員の方が、自治会長と連携を取りながら日々の問題に当たっていると思われるが、負担の多さを考えると早急な対応が望ましいがどう考えるか伺う。</p> <p>③以前、民生委員補助員制度について、一般質問でも提案をしたが、仕事の内容から新しく民生委員にお願いしても断られることも多いと聞く。女性の方から「見ず知らずのお宅に一人では行きづらい」との意見もある。このことから、事前に一定期間民生委員の活動に同行するなどの実地研修も必要だと思われる。</p> <p>一緒に地域を回ることにより不安感を減らす効果と、引き継ぎの円滑化が期待できるような方法が取れないか、在任期間もあることから、必要と思われる地区の要望を聞いて、次の方へのイメージとして降板されても欠員を出さないよう、事前に候補者の選定は考えられないだろうか、市は制度の在り方を検討するとともに、経費や費用弁償をしてはどうか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	白井 文雄 (一括質問一括答弁方式)	1. 消費者行政について	(1) 消費者相談の実状について	①係を設置してからの被害相談件数・相談内容についての実態はどうか。(インターネット被害も含め)また、被害相談内容の原因としては何が考えられ何が課題となっているのか。国からの情報はどんなものが入ってきて、市民にどのように情報を還元しているのか。県等との連携は取れているのか。 ②社会的弱者と言われる方々への活動実態はどうか。市民活動現場での啓発はどう取り組んでいるのか。また、学校での消費者教育はどう取り組んでいるのか、醸成を図る必要があるのではないかと。 ③担当職員の研修体制については充実が図られ、資質は高められているのか。
		2. 市民福祉行政について	(1) 公共交通事業の運営について	①決算に見る公共交通利用者増減の要因は何か。今後の利用者拡大と維持はどのような手法で考えるのか。また、デマンドが伸びない要因は何か。 ②合併後の利用者ニーズ調査は随時行っているのか。実態を調査して利用ニーズを図るべきではないかと。 ③地域公共交通会議での意見反映は適格に取り入れられているのか。 ④高校生等の部活動終了後の帰宅に係る公共交通の利用が望めないが、時間拡大を図るべきではないかと。 ⑤真の公共交通の目的と使命は何か。
		3. 人事労働行政について	(1) 働き方改革における本市への影響について	①同一労働同一賃金の本市の現状はどうか。 ②この改革に係る一般職、特別職の非常勤職員や臨時職員はどれくらい在職して、国が進める働き方改革における市の人事、財政、労働面ではどのような影響が考えられるか。 ③市に係る保育士給与や看護師給与への影響も出てくると思うがどう対応するのか。
5	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 燕市国民健康保険事業について	(1) 燕市国民健康保険事業の運営について	①燕市国民健康保険特別会計決算見込みにおいて、平成 27 年度は 7 千万円の不足、平成 28 年度は 2 億 2 千万円の不足が生じ、国保税の引き上げや一般会計からの繰り入れで対応とのことであります。その後の燕市国民健康保険事業の運営の現状と見通しについて伺います。 ②有効な対策として「特定健診未受診者対策」や「特定保健指導、重症化予防事業」をより効果的に継続実施するとのことであります。現在、行われている対策事業等取り組みの現状や見直し等と、今後の方向性等について伺います。
		2. 燕市の産業振興について	(1) 地場産業や観光等の振興について	①昨年の燕青空即売会において、農家の方々が出店され、農産物の販売をされておりますが、その状況と評価、今後の方向性等について、考えを伺います。 ②燕市の地場産業(金属製品等、農産物、飲食等々)及び、観光振興等への行政が関わって行っている PR の現状について伺います。 ③平成 28 年度「燕青空即売会」での来場者数 55,000 人という数字は、本市においてとてつもない集客数であります。その来場者のうち市外、県外からお出でになっている方々に、燕市の魅力(人、物、食、観光等)をもっと知っていただくための、新たな取り組み等を考えてみてはいかがかと、考えを伺います。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	堀 勝重 (一問一答方式)	3. 福祉の充実について	(1) 介護予防について	<p>①平成28年12月議会の議員協議会において、「地域包括ケアシステム」の一つの要素である「介護予防・日常生活支援総合事業」の位置づけ及び取組み状況と今後の進め方等について説明がなされたところでありますが、現時点で「基準緩和サービスA」及び「住民主体サービスB」の対象者数はどのくらい想定されているのか伺います。</p> <p>②サービスA(元気高齢者)・サービスBのサービス提供者(住民主体ボランティア等)の確保について、考えを伺います。</p> <p>③「基準緩和サービスA」及び「住民主体サービスB」のサービス提供を計画しておられますが、どのようなサービスが可能なのか伺います。</p>
6	大原 伊一 (一括質問一括答弁方式)	1. 公共施設等総合管理計画について	(1) 中間報告がされた後の進捗状況について	<p>①当然全施設を見直しの対象として進めているものと思うが、統廃合を進めるべき施設の方針が決まった施設はあるのか。</p> <p>②前回の説明では、施設面積が県内他市と比べ多くないと説明していたが、同様な施設を2～3施設を運用するより、統合して1施設又は、2施設に集約することで将来のランニングコストが大幅に違うと思われるが、そのような検討もなされているのか。</p> <p>③管理計画の全容は、いつまでに議会へ対して示されるのか。</p>
			(2) 受益者の負担について	①受益者負担の見直しも進めていかないと、企業会計手法を取り入れると大幅な赤字体質になり得るのでないか、講座や教室、スポーツでも数万円もする道具を揃えるなら市の施設に対しても応分の負担を求めていく時代と思うがいかがか。
		2. 新しい給食センター建設に伴う学校給食の安全性向上について	(1) 給食の安全性は、最高レベルになるのか	①西部給食センターに続き東部学校給食センターが完成することで、今までと比較した安全性について。
			(2) 食物アレルギーへの対応について	<p>①児童・生徒の食物アレルギーの実数と、対応すべきアレルギーの種類などの実態について。</p> <p>②合併後の年度別に、学校給食による食物アレルギーの起こった件数と事例、また事例ごとの対策、また、救急車を呼んだりアドレナリン自己注射液(エピペン®)を注射するような危険な状態が起こったことがあるのか。</p> <p>③食物アレルギーを引き起こす要因は、多くが些細な人為的ミスが多いと思われる。人為的ミスを防ぐための万全な対策が必要と考えるが、その弊害となるような事例はあるのか。</p>
3. 農業の30年問題について	(1) 本市の対応策について	①「農業の30年問題」といわれる所得補償の全面廃止。転作の自由化、それに代わるものとして、農地の流動化促進や担い手育成、飼料米や米以外の穀物への助成金などに転換しており、この大きな流れにより大規模農家も飼料米への転換が進んでいる。米価の暴落が起き、農業経営が行き詰まる事が懸念されているが、本市の対応策はあるのか。		

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	大原 伊一 (一括質問一括答弁方式)	3. 農業の30年問題について	(1)本市の対応策について	<p>②米は、我が国農業における基幹作物であるが、農業生産額では、平成16年以降、首位の座を畜産に明け渡ししており、24年の生産額は、畜産2兆5,880億円、野菜2兆1,896億円、米2兆286億円と3番目になっている。この状態で燕市農業は、米単作で営農を継続できるのか、新たな方向性を打ち出す必要があるのではないかと伺う。</p> <p>③米以外の農産物を作れる基盤整備の促進と、米の大規模化だけでない多様な農業経営体の育成が急務と考えるがいかがか。</p>
7	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 命の尊厳について	(1)小・中学生等の「自殺」のこと	<p>①幸いなことに本市においては、いじめによる自殺の事例は発生していない。しかし、その予備軍とも云えなくもない「不登校」の実態について伺う。</p> <p>(イ) その件数 (ロ) その原因 (ハ) その対応策</p> <p>②小・中学校における「いじめ」と家庭教育との関係について、いじめる側、いじめられる側、双方、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>③学校、家庭共に、時代の影響からは逃れられないが、その関係をどのように捉えているのか伺う。</p>
			(2)大人の「自殺」のこと	<p>①本県は昔から全国的にみて、大人の自殺が多い県となっているがその傾向は今も変わらないのか伺う。</p> <p>②本市の実態について伺う。</p> <p>(イ) この三年間の件数 (ロ) その原因として上げられるのは大別して四つ、病気・金銭・仕事・人間関係この内どれが一番多いのか。 (ハ) その対応策</p> <p>③時代との関係をどのように捉えているのか伺う。</p>
		2. 産業振興行政について	(1) 燕製金属酒器購入支援補助金のこと	<p>①昨年12月定例会、一般質問最終日における或る議員の質問。「何故、執行率が32%なのか」。それに対して担当部長の答弁は「周知が足らなかったに尽きる」とのことであった。対象事業所を2回訪問し、PRに努めれば交付金の金額には達したと思うが伺う。</p> <p>②27年度の第2回定例会において、私が「マイカップ運動の推進について」質問した答弁の中で、担当部長は「運動を周知させるためのチラシ、ポスター、のぼり旗の作成や協力飲食店をPRするためのマップの作成、SNSを活用して金属酒器で乾杯している飲み会をどんどん紹介していく」。この成果と反省点を伺う。</p> <p>③この普及支援補助金事業は、件数で26件、個数で1,552個、交付額で2,242,200円、交付金の2/3を返還したとはいえ、この事業がなければゼロと考えれば或る一定の成果はあったとも考えられるが、その点どう思っているのか伺う。</p> <p>④しかしながら、目的はあったが目標がなかったのではないかと。目標があれば、先の「マイカップ推進運動」の中で市長が答弁しておられるように、PDCAメカニズムを援用しもっと成果をだせたと思うが、その点どう考えているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 女性の活躍推進について	(1) 女性が活躍しやすい環境づくりについて	<p>① 燕市ではこれまで、「女性が輝くつばめプロジェクト推進事業」として様々な取り組みを実施し、女性が活躍しやすい環境づくりを進めてきました。</p> <p>今後、取り組もうとされる「イクボス研修会」「事業所アンケート調査」「(仮称)異業種男女交流研修」の実施について、具体的な内容について伺います。</p> <p>② 近年の結婚年齢の上昇や晩産化に伴い、不妊治療を受けている人は年々増加し、不妊治療と仕事の両立支援は近年、重要な課題となっています。</p> <p>仕事と不妊治療との両立が困難であるために、離職を余儀なくされる事がないよう、上司や周囲の理解などが重要であると思いますが、市の考えを伺います。</p>
		2. 健康増進事業について	(1) 各種がん検診について	<p>① がんは、日本人の2人に1人が生涯のうちにかかる「国民病」といわれ、燕市においても市民の生命と健康を守るため、がん対策を一層充実させなければなりません。</p> <p>厚生労働省は、2015年12月に「がん対策加速化プラン」を公表し、がん検診の受診率50%を目指す施策や、個別の受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)を強化する施策などが盛り込まれました。</p> <p>燕市においては、平成26年度から胃がんリスク検診を実施していますが、他の自治体では、中学生を対象に胃がんリスク検診を始めたところもあります。</p> <p>燕市における各種がん検診の実態について伺います。</p> <p>ア. 各種がん検診受診者数の推移と現状について イ. 個別受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)について ウ. 中学生を対象とした胃がんリスク検診の導入について</p>
		3. 子育て支援について	(1) 多子世帯への支援について	<p>① 子どもが3人以上の多子世帯になると、食費や教育費などを含め様々な支出が増え、経済的負担は大きいものです。多子世帯の負担を軽減するため他の自治体では、様々な取り組みを実施しています。</p> <p>産み育てやすい環境づくりを進めるためにも、市で考えられる多子世帯への支援について伺います。</p>
			(2) 一時保育の拡充について	<p>① 平成27年6月定例議会において、一時保育の拡充について質問し、当局からは「全体的には要望に対応しているということにはなりますが、今後、利用状況に応じては、実施園を増やすなど研究してまいりたい」との答弁がありました。吉田地区の保護者の方からは切実な声を聞いています。平成28年度現在の3地区ごとの利用状況と、今後の対応について伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 県立吉田病院の改築に伴い市としての考え方について	(1) 県立吉田病院の機能拡充、早期改築に向けて	<p>①新潟県病院局は、昭和49年建設以来築43年経過の老朽化した県立吉田病院を改築する方向で県議会に示し、今後、第3者委員会で議論を踏まえて建て替え規模や時期等を検討するとして、来年度以降に整備基本計画の策定作業等に入る方針とのことであるが、今日県からの正式に県立吉田病院改築や機能強化に向けての考え、計画等を地元である燕市に示されているのか伺う。また、県立吉田病院改築に対しての所見を伺う。</p> <p>②県央圏域市町村間の二次救急医療体制の均衡保持を考慮しつつ、県立吉田病院の機能拡充、早期改築等に向けて機運を高めるべく市から県への動向について伺う。</p> <p>③開業医が多くある燕市であるが、県立吉田病院と患者のかかりつけ医院との連携が大切で重要かと思われるが、市としてどのような捉え方なのか所見を伺う。</p> <p>④県立吉田病院には、特別支援学校や看護専門学校が併設されているが、改築が示されている中での位置について市の見解を伺う。</p>
		2. 燕市吉田老人いこいの家「長善館」等について	(1) 老人いこいの家「長善館」等について	<p>①由緒ある鈴木家から昭和43年に旧吉田町時代に土地・建物を譲り受け、地域等の健康な高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、虚弱な高齢者等を地域で支えあったり地域の宝である子どもたちが、長善館かるた会、長善館学習塾等々福祉・教育活動の拠点機能を併せ持つ燕市吉田老人いこいの家「長善館」の耐震性と建築物に対しての現状認識について伺う。</p> <p>②燕市吉田老人いこいの家「長善館」の公共施設での老人という名称。 子どもたちや高齢者等の社会的弱者と言われる利用者が多い公共施設。今日の時代に相応しくない老人と言う呼び名の施設であるが、改称すべきでないか見解を伺う。</p> <p>③燕市吉田老人いこいの家「長善館」隣の児童遊園地内の男女共同公衆トイレの現状認識を伺う。</p>
		3. 農業政策について	(1) 多面的機能支払い交付金事業について	<p>①地域資源の基礎的な保全活動として、農地等の法面の草刈り、水路の泥上げ、農道砂利補修等の実践地域活動を共同で毎年度行う「農地維持支払い交付金事業」と、施設の軽微な補修等や水路の更新等の地域共同活動や、長寿命化のための活動である「資源向上支払い交付金事業」の実施組織と対象面積はどのくらいで、燕市農用地面積に対して取り組み実施比率はどうか伺う。</p> <p>②多面的機能支払い交付金事業の制度は、構造改革を推進する大きな目的で、農用地流動化を促進し、担い手農家の安定的な収益を確保することがねらいと思われるが、市として多面的機能支払い交付金事業の利用による農用地流動化の促進に対しての考え方と、活用に関する市の所見を伺う。</p> <p>③燕市多面的機能広域活動組織の設立準備委員会が1月に開催されたが、組織の広域化についての経緯と見解について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	山崎光男 (一問一答方式)	1. 燕市が誇る地域資源の継承と周知拡大について	(1) 天神講について	① 鈴木市長就任以降、天神講の行事は年々燕市に定着し、今年も2カ所で行われたお菓子の絵付け体験や、新商品の天神講キャンドルも好評だった。天神講は、かつて燕市・西蒲地域のみならず、県内各地で盛んだった。天神講は全国各地様々な風習が残っているが、今後、どんな手法で「天神講のまちつばめ」を市内外に発信し、周知拡大を図っていく考えか伺う。
			(2) 落下から180年、米納津隕石について	① 米納津隕石落下は天保8年(1837年)、今年ちょうど180年に当たる。4年前13年ぶりに実物が燕市に里帰りした時は、話題になり大いに賑わった。米納津隕石は、言わば燕市の宝である。この貴重な本市の地域資源に、節目の年また光を当て、多くの市民・県民に知ってもらうことが、レプリカが展示してある落下地記念碑や長善館史料館のPRになり、まちおこしにもつながると考えるが、何か手は打てないか、当局の考えを伺う。
		2. 地域経済分析システム(RESAS)について	(1) RESASを最大限活用した、燕市の活性化について	① 2015年4月の提供開始以降、全国の自治体でRESASを学ぶ研修会が開かれている。新潟県もRESASの普及促進に取り組んでおり、県内各地でRESAS出前講座が開かれ、多くの行政職員や経営者・学生などが参加、毎回活況を呈している。今年1月22日に開催された「地方創生RESASフォーラム in 新潟」で、市長は登壇し所見を述べられた。RESASは官民の様々なデータを、マップやグラフ・花火図を多用して分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムである。効果的な産業施策立案が出来るこのRESASを活用して、燕市をどう活性化させるか、今後の展望を伺う。
11	土田昇 (一問一答方式)	1. 子どもの貧困対策について	(1) 子どもの貧困対策の実態調査の内容について	<p>① 昨年12月議会の一般質問の答弁で、市長は「一人親家庭等を対象とした児童扶養手当、これを支給している方々に対してどういった状況で困っているのかアンケート調査を実施したい」と答弁している。さらに、「子どものいる貧困家庭の実態把握に努めたいと考えている」としているので、私は調査対象者は子どものいるすべての家庭を対象に調査すべきと思うが、市長の見解について伺う。</p> <p>② 健康福祉部長も答弁で、「一人親家庭の就労や自立支援、生活困窮者自立支援事業による相談や児童扶養手当の支給を行っているほか、就学援助や奨学金貸与などを行っているが、子ども貧困対策は重要だと考えているので、今後もさまざまな施策を推進していきたい」と答弁しているので、現在考えている施策について伺う。さらに児童扶養手当の件数、就学援助の件数、奨学金貸与のすべての件数についても伺う。</p> <p>③ 児童扶養手当の現況届が8月に調査するので、そのとき調査したいと答弁しているが、もっと早く対応すべきと思うがその点について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	土田 昇 (一問一答方式)	2. 生活保護について	(1) 市の生活保護の受給状況について	<p>①新聞報道によれば、県内の生活保護の実態が報道されました。65歳以上の「高齢者世帯」が1世帯増の7,343世帯、働ける世代を含む「その他の世帯」が10世帯増の3,762世帯、「障がい者世帯」も3世帯増の2,315世帯、「傷病者世帯」も8世帯増の1,766世帯、「母子世帯」が5世帯増の799世帯と報道されたが、市の状況について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯 ・その他の世帯 ・障害者世帯 ・傷病者世帯 ・母子世帯と今後の見通しも含めて伺う。 <p>(神奈川県の場合についてもその認識について伺う)</p>
		3. いじめ問題について	(1) 「震災いじめ」の認識について	<p>①東京電力福島第一原発の事故で、福島県から下越地方に避難している公立中学校1年生の女子生徒が、昨年6月以降「菌」と呼ばれるなどのいじめを受けて学校を欠席していると報道されている。</p> <p>新潟市でも昨年11月、小学校4年生の男子児童が担任から名前に「菌」を付けて呼ばれ、一時学校を休んだとも報道されました。この事件の報道に対して教育長の見解について伺う。</p> <p>②市内小・中学校のいじめについてどのような状況か伺う。</p>
12	埜 豊 (一問一答方式)	1. 燕市の財政状況について	(1) 今後の地方交付税の行方について	<p>①合併後15年も目前となり、特例期間も終わりの時期となり、これからの地方交付税の推移について。</p> <p>②平成29年度において臨時財政対策債、合併特例債、緊急防災・減災事業債などの交付税に参入されている額と、真水の部分の交付税の額について。</p>
			(2) 臨時財政対策債の行方について	①当初3年の時限立法により行われた臨時財政対策債が、なし崩し的に現在まで続き、平成29年度の公債費の30%以上となっている現状をどう認識しているのか。
		2. さらなる行財政改革に向けて	(1) 公共施設の老朽化対策について	①今後予想される事業規模と直近10年の予想は。
			(2) なぜ幼保事業の民営が必要なのか	<p>①全て一般財源で賄われている公立の幼・保の運営費の実情は。</p> <p>②一園民営化による財政負担の軽減は、一般的にどれくらいと想定されるか。</p> <p>③過去に燕市で行われた民営化で問題点があったのか。</p>
3. 公会計の取り組みについて	(1) 進捗状況について	<p>①資産の確定状況、資産台帳の整備状況について</p> <p>②職員への周知と今後の取り組みについて</p> <p>③先進自治体の調査研究状況について</p>		

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 市民税徴収施策について	(1) 個人市民税滞納問題への対応について	<p>①本市の個人市民税の動向が、緩やかな景気回復あるいは特別徴収への移行が進んでいることを理由に税収が伸びたとの説明があるが、一方で滞納繰越額も増えており、返済に窮している市民が多いことも事実である。そうした市民に寄り添い、いかにして相談また、支援の手があるかの施策が求められる。以下、具体的に伺う。</p> <p>今年度の個人市民税の滞納者数並びに滞納繰越を本税と滞納処分(延滞金)それぞれの金額、また、新たに滞納が発生しているのか伺う。</p> <p>②新潟県地方税徴収機構へ委ねた個人市民税の滞納案件について、件数と滞納額、またどういう基準によって委ねるのか伺う。</p> <p>③滞納者の財産を差し押さえた案件はあるのか、その件数と換価金額を年度別に平成26年～28年まで伺う。</p> <p>④滞納が発生したときの対応についての手順、また、本人との相談の中で、滞納に至る経過や原因など把握していることを具体的に伺う。</p> <p>⑤平成28年4月以降、「納税の猶予制度」の条件が緩和されたが、これまで滞納者が制度を活用して、「換価の猶予」や「滞納処分の停止」を申請する事例はあったか伺う。</p> <p>⑥滋賀県野洲市では滞納は生活困窮者のシグナルと捉え、納付相談にのりながら、相談者が自立できるように支援する仕組みをつくり、滞納解決の取り組みを進めている。自治体をあげて市民の生活再建をサポートしていくことは、本市でも求められているのではないか伺う。</p>
			(2) 市民税の特別徴収通知の対応について	<p>①事業者から提出される「給与支払い報告書」に基づく、県市民税の「特別徴収税額決定通知書」送付にあたり、「個人番号」(マイナンバー)についてどのような対応か、記載して通知するのか伺う。</p>
		2. 教育施策の充実について	(1) 就学援助制度の一層の充実施策について	<p>①平成28年度小・中学校児童生徒の適用率と合計人数、そのうち年度途中に申請し、認定された児童生徒の人数、さらに、新入学一年生児童生徒の適用人数を伺う。</p> <p>②制度の周知徹底に努力していると、この間説明を受けているが、認定基準の4つの項目に照らして、該当するご家庭が概ね申請していると考えるか伺う。</p> <p>③「援助費目」として、小学校のパソコンクラブなどクラブ活動費や中学校生徒の文化部・体育部などのクラブ活動費を取り入れている自治体があるが、本市においても認定されているご家庭にとっては望みであると思うが認識を伺う。</p> <p>④2017年度政府予算案で「要保護世帯」の就学援助費のうち、新入学児童生徒の入学準備費用について国の補助単価が約2倍に引き上げられたが、本市において、就学援助・新入学児童生徒学用品費について国の引き上げ方針に準ずるような検討をすることが求められるのではないか伺う。</p> <p>⑤新入学児童生徒学用品費について、新潟市の例を引き、実際に購入する3月への支給時期前倒しの検討を、以前求めたが、新聞報道にも紹介があるように、全国的には今年度3月から前倒し支給に改善する自治体が増えていることをどう思うか、所見を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	小林由明 (一問一答方式)	1. のら猫問題について	(1) のら猫対策について	<p>①平成28年9月議会以降の、のら猫問題への取り組み状況を伺いたい。</p> <p>②動物愛護の観点や、のら猫等の被害で苦しんでいる方のために、各地で活動し成果をあげているボランティア団体などがある。こうした団体などと連携関係をつくり、地域ののらねこ対策を促進すべきではないか。</p>
		2. 中学生の社会参画について	(1) 中学生のボランティア活動について	<p>①中学校は、社会性を身に付けるべき極めて重要な時期ではあるが、小学生の頃とは異なり、地域社会との関係は希薄になりがちである。人々や社会に貢献できるボランティア活動などの社会参画は、彼らの社会性を育むよい機会となると考えており、それらに触れる機会を増やしていただきたいと思うが、市の考えを伺いたい。</p> <p>②平成28年熊本地震においては、避難所運営などにおいて中高生ボランティアの活躍が注目されたが、市内中学生の社会参画のきっかけの一つとして、学校や社会福祉協議会等と連携し、防災訓練に中学生の活動の場を組み入れてはどうか。</p>
			(2) 地域コミュニティの基盤強化に果たす、地域と小中学校連携型の防災訓練の実施について	<p>①災害時には、全世代全住民がそれぞれに助け合い支え合わなくてはならない。しかしながら、高齢化や少子化、都市構造の変化などにより地域コミュニティの力が弱まり、住民間のつながりも希薄になっているのが現状である。防災訓練は全世代全住民が対象となる取り組みであり、かつ、その性質上、住民間の連携を生み地域コミュニティ強化に果たす可能性を持っている。また、小中学校は全ての子どもたちが通う、地域の核となる極めて重要な存在である。</p> <p>地域コミュニティと地域コミュニティの核である小中学校とが連携できる体制構築を進め、小中学生の社会参画とともに、地域コミュニティ強化を視野に入れた、地域住民全参加型の防災訓練を実現いただきたいがいかがか。</p>
		3. 体育施設の環境改善について	(1) 市内武道館の維持管理、修繕について	<p>①燕市民武道館の柔道場剣道場は、壁のいたる所に穴が開いていたり、壁紙が剥がれていたり、設備の機能性から喚起窓が開けられない、点灯しない電灯があるなど、かねてよりその維持管理について住民より指摘を受けている。市はこれらの状況をどのように考えているのか。</p> <p>②速やかな対応を求めるがいかがか。</p>
			(2) 体育施設の環境改善について	<p>①費用の面では課題があるものの、近年の体育施設には冷暖房の設置が主流となっている。防災拠点ともなり得る、武道館を含めた体育施設への、冷暖房設備の設置を進めるべきではないか。</p> <p>②燕市民体育館は、県内各地からのアクセスもよく周辺環境も素晴らしい。これらの条件を活かし規模の大きな大会や合宿、各種イベントの積極的誘致を図ることによって、交流人口増加に果たす役割を大いに期待できる。そのためにも、館内の維持管理や冷暖房設備の設置等、より充実した環境の整備に努めるべきと考えているがいかがか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 防災について	(1) 今後の防災対応について	①燕市洪水、土砂災害ハザードマップの新たな作成と、避難所の看板表示等はいつ設置するのか伺いたい。 ②地域防災計画の内容を市民にどのように理解していただくよう努めるのか、今後の考え方を伺いたい。 ③防災リーダー養成講座を来年度も行う計画になっているが、内容の見直しや、防災の担い手づくりをどのように進めていくのか伺いたい。 ④来年度も全市での避難訓練は実施されるのか。内容の変更も含めて考えはあるのか伺いたい。
		2. 安心安全のまちづくりの対応について	(1) 安心安全を守るための対応について	①自然災害(豪雪、落雷)に対する対応はどのように考え、実施されているのか伺いたい。 ②道路照明等の管理はどのようにされているのか伺いたい。 ③住宅密集地における火災に対する対策は考えられているのか伺いたい。
16	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 公営住宅について	(1) 公営住宅の現状について	①公営住宅の用途別にどのような年代ニーズに対応した住宅があるのか伺います。
			(2) 今後の住宅について	①今後はどのような住宅が望まれているのか、市へ市民などから要望などあるのか伺います。
			(3) 若者向け住宅について	①今後市では若者向け住宅についてどのような考えかをお伺いします。 ②若者が定住するための住宅に対する考えもお伺いします。
		2. 行政内部の連携と周知について	(1) 部、課の横の連携について及び窓口の対応について	①各部、課で仕事での関係で今後はどうしたら良かったとか、またこれは良かったとか、そういう情報は共有をして窓口の対応が良くなったという話も聞くが、今後市民への周知などはどのようにお考えか伺います。
(2) 農業と商工の連携について	①二つの部が一つの部になってどのような関係が取れてどこが良くなってどうだったか、例でもありましたら伺います。			
17	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 市の説明責任について	(1) 市の説明責任について	①議員協議会や一般質問において、質疑に対する答弁が明確でないことが多く、とても説明責任を果たしていると思えないのだが、あえてそうしているのか伺う。 ②「金属酒器乾杯運動」のための購入費補助事業は、その最たるものであった。この問題については、市は事務手続きに考えられないミスがあったと認めている。しかし、わからないのは高額な鍍起銅器の片口が補助対象であったことである。私をはじめ、多くの議員が知らなかったと思われるが、補助対象に決定したのはいつの時点だったのか。
		2. (仮称)つばめ産学協創スクエア事業について	(1) (仮称)つばめ産学協創スクエア事業について	①市は産業界と連携して、学生の市内企業への長期間のインターンシップの拠点施設を建設するとして、その予定地について燕市宮町の旧高橋書店の跡地を有力な候補地として検討を行うとし、その経過説明が1月26日の議員協議会で行われた。このとき、平成29年度内に施設の完成を目指すとのスケジュールが示されたが、建設費も示されず、建設後の運営や経費の負担についてもあいまいな答弁であった。市はあくまでも検討段階としていたが、2月8日付けの新潟日報には、この事業について議会で説明されていない内容も報道されていた。市に対する不信感が大きくなる一方である。インターンシップ事業そのものは賛同できるが、内容について詳しく説明してもらいたい。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
17	タナカ・キン (一問一答方式)	3. 退職者の再就職について	(1) 退職者の再就職について	① 文部科学省の再就職の「あっせん」が大きな社会問題になっている。市でもこれまでの退職者の再就職については「あっせん」があったのか伺う。 ② 合併後、これまでに公益法人等に何人が再就職をしているか、またどの団体にそれぞれ何人だったのか伺う。
		4. 同一労働同一賃金について	(1) 同一労働同一賃金について	① 平成 28 年 9 月 27 日、安倍総理は総理官邸で「第一回働き方改革実現会議」を開催した。その中で特に注目されたのが「同一労働同一賃金」など、非正規雇用の処遇改善であった。市でも多くの非正規の職員が働いている。今後「同一労働同一賃金」の考えの下、処遇改善が図られるものと思うが、市長の考えをお聞きしたい。 ② 正規職員と非正規職員の賃金の格差の実態について、わかりやすく説明してもらいたい。
18	吉田勝利 (一問一答方式)	1. 高齢者の一人暮らしの方の現況について	(1) 自治会におられる高齢者の一人暮らしの人からの相談事に対応することについて	① このような現況にある方は、燕市には何人ぐらいおられるのかお聞きします。 ② このような方々の健康状況はどのように把握されておられるのかお聞きします。 ③ このような方々の家族、親族等の把握はされておられるのかお聞きします。 ④ このような方々のうち、施設等に入所するように勧める必要のあると判断された方はおられたのか、また、その場合の結果はどうであったかをお聞きします。 ⑤ 自治会に民生委員がおられず、募集の案内を回覧したり、この方と思う人をお願いしてもなかなか承認が得られません。これらの状況を打破するために市の協力も必要かと思われませんが、この点をどうお考えになりますかお聞きします。
19	大岩勉 (一問一答方式)	1. 燕市内の安全対策について	(1) 県立吉田病院の安全対策について	① 新潟県の大規模建築物耐震結果で、県立吉田病院は「危険性が高い」と診断されたが、燕市としての今後の対応を伺う。 ② 将来的な医療体制を話し合う検討会に地元医師会も参加と聞くが、報告は受けたのか伺う。
			(2) 市内踏切の安全確保について	① 国土交通省は改正踏切道改良促進法に基づき、改良が必要な踏切を県内 12 カ所を指定したが、燕市内 3 カ所も改良が必要と指定されたことは確認されているのか見解を伺う。 ② J R 東日本新潟支社は道路管理者と協議を進めておると聞くが、燕市としての対応対策を伺う。
		2. 新市建設計画と行政運営について	(1) 市有地(残地物件)の処分について	① 市内には道路整備などによる「残地物件」が多くあると思われます。遊休財産処理として財政確保にもつながるのではないか見解を伺う。 ② 遊休市有地売却を担当する「遊休財産処理戦略プロジェクトチーム」を立ち上げたらどうか、職員の奮起を期待したいが伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
19	大岩 勉 (一問一 答方式)	3. 元気で活 力のある地 域作りにつ いて	(1) フットパス コースを設定 したらどうか	①イギリスを発祥として森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら町歩きすることで、新たな投資はしなくてもよく、燕市の新発見・再発見にもつながる取り組みと思うが見解を伺う。
			(2) 旅行者の誘 客、定住人口 増について	①訪れる旅行者が気軽に市内の魅力を散策することにより将来の定住人口増にもつながるのではないかと、一種の健康スポーツとしての取り組みとしては考えられないか見解を伺う。 ②多様なコース・郷土料理など燕市の特色を最大限に生かして外との交流を進めれば、将来的に誘客移住にもつながるのではないかと見解を伺う。